
key

蒼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

key

【コード】

N6455L

【作者名】

蒼

【あらすじ】

開けられるもの
閉じられるもの

あなたが望むのは…。

開けたいものが開けられる鍵？

そうね、母の引き出しを開けたいわ。

小さい頃、父があんまり母のことばかり想って泣いていたから、母の手紙や日記の仕舞われた引き出しに鍵をかけて、その鍵を捨ててしまったの。父は怒らなかつた。むしろ笑ってくれたわ、これで諦められるって。今はその父も居ないけれど、開けてみたいのよ、今の私と同じ歳で死んだ母の記憶を。

…考えてみれば、私の子どもも、あの子の私と同じ歳だわ。あの子も閉じてしまおうとするかしら。母と、私の引き出し。

開けたいもの？あるさ。俺は妹の喉を開けてやりたい。あいつの声を取り戻してやりたいんだ。

医者はいいつの受けたストレスが無くなれば、声も出るようになると言った。けどはいつ、それがなんなのか言おうとしない。思いつくのも嫌なんだろう。俺は別に、あいつが言いたくもないものを無理に聞きたくはない。だが、あいつが紙に言葉を綴るたびに、あの眼を見たくないんだ。あいつにこれ以上、自分を苦しめて傷つけて欲しくないんだ。

あいつには、笑った顔が一番似合うと思うから。

何でも開けられる、ということは何でも閉じることが出来るのね

？形がないものでも構わないなら、この心を閉じてしまいたい。二度と開くことがないように、二度と何も感じる事が無いように。

どんなに素晴らしいことかと思うのよ。自ら命を絶つほどの度胸もない、今までの自分を捨て去ることもできない、中途半端な私だもの。

”人間”であることを主張するものがなくなってしまうたら、それは何というイキモノなのかしら？ただ少なくとも私には、お似合いなモノだということね。

開けて良いの？このお花だけ、まだ蕾なの。他のはみんな咲いているのに、ひとりだけ。

だけど私が開けちゃって良いのかしら。このこも明日まで待てば、咲くかも知れないのよね。頑張ってる最中かも知れないのよね。でも私がここで開けてあげれば、ずっとお花を咲かせていられるかも。せっかく綺麗なお花なんだから、長く咲いていて欲しいもの。それにみんなも喜ぶと思うわ。ここはたくさんの方が毎日通っていく道なの。

このこはどう思うかしら？私の考えでは開けた方が良いと思うのだけど、このこの声は聞いていないわ。このこが喜ばないと、咲いたあと悲しくて、すぐに枯れてしまいかもしれない。そんなのは嫌だわ。

ねえ、どうしたら良いと思う？

何でも開けられる鍵。何でも閉じられる鍵。何を開けるか、何を閉じるか。今も誰かの前に差し出される。

何でも開けることができる？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6455/>

key

2011年1月16日01時27分発行